

# 福岡県における取組について (ポリファーマシー研修会事業)

- 医師、薬剤師、看護師等の多職種を対象とした研修会を開催。
- 第一線で活躍されている医師、病院薬剤師、薬局薬剤師から取組事例等の講演を実施。
- 博多駅徒歩圏内の会議室にて開催  
日時 令和6年1月27日(土)15時～17時  
場所 リファレンス駅東ビル3階会議室H-2  
(福岡市博多区博多駅東1丁目16-14)

～医師の立場から～

**第1部** 15:00～15:45 「高齢者診療における  
ポリファーマシーの問題点」

 梅垣 宏行 氏  
名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授

---

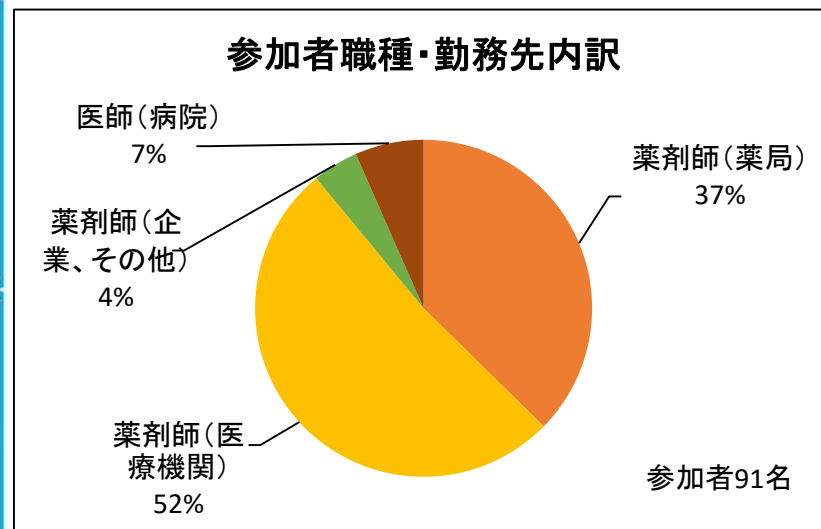
～病院・薬局薬剤師の立場から～

**第2部** 16:00～16:30 「処方適正化にむけた  
ポリファーマシーチームの取組み」

 皆元 文恵 氏  
飯塚病院 薬剤部

16:30～17:00 「薬剤師の在宅医療における  
ポリファーマシーへの取組み」

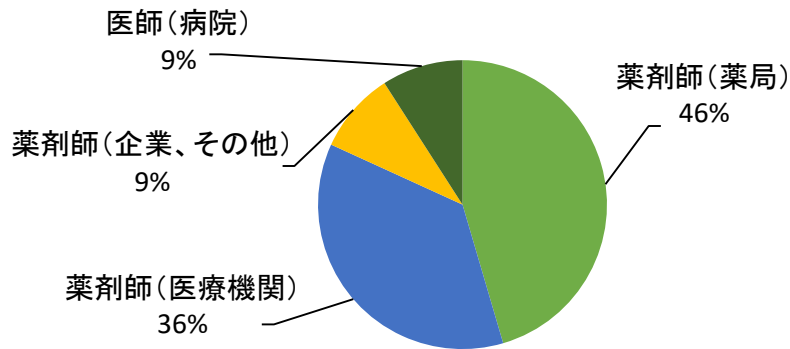
 濱 寛 氏  
有限会社スマイル薬局 代表取締役



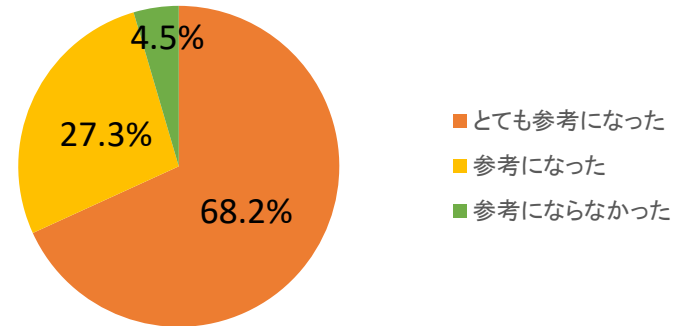
# ポリファーマシー研修会事業

- 土曜午後の開始とすることで、病院薬剤師、薬局薬剤師に加え、医師の参加も得られた。
- 当日、WEBアンケートを実施したところ、22名から回答を得た。結果、各テーマについて「とても参考になった」又は「参考になった」の回答が9割を占めた。
- WEBアンケート自由記述欄からは「現場で役立つ内容だった」等の意見の他、「高齢者における適切な便秘や不眠の薬物療法」を聴講したい等の具体的な症例を基にした内容を希望する意見、「電子処方箋によるポリファーマシー対策ができるようになればその内容が知りたい」等の新しい技術の活用に関する意見が聞かれた。

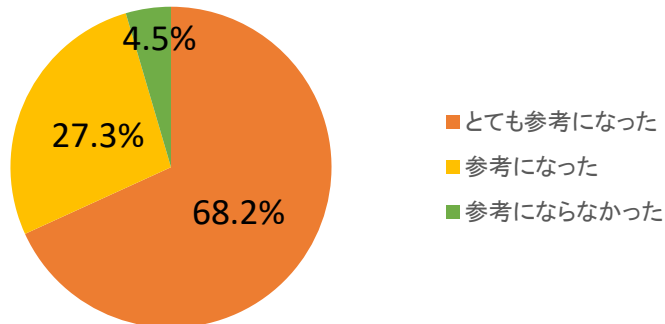
回答者職種・勤務先内訳



「高齢者診療におけるポリファーマシーの問題点」  
(医師:梅垣先生)はいかがでしたか？



「処方適正化にむけたポリファーマシーチームの取組み」  
(病院薬剤師:皆元先生)はいかがでしたか？



「薬剤師の在宅医療におけるポリファーマシーへの取組み」  
(薬局薬剤師:濱先生)はいかがでしたか？

